

東雲だより2022

コロナ禍も三年目を
むかえましたが
春の訪れはまだ？
頑張りましょう



- ① インストール研修の結果と予定
- ② 「東雲インストール研修/便器ウォシュレット設置」特集
- ③ 荒尾先生寄稿「木造リフォーム 06断熱③」
- ④ ラボ紹介「百年名家～築100年の家を訪ねる旅」



東雲研修センターにある最も古い通水展示台です。
ウォシュレットネオレストの陶器部分を半分にカットしてあり、
トラップの形状や洗浄状態を見ることができます。大変貴重な技術遺産です。

研修に当たっては、検温、マスク、手指の消毒、フェイスシールド
使用、手袋の使用、換気等万全の対策をとり実施させていただきます。

インストール研修の結果と予定



エアコン施工研修



システム現調研修



辻井商会様現調研修



在来工法RF研修

インストール研修結果と予定をご報告します

【1月の結果】

- 1/13 エアコン施工研修
- 1/18 シスバス現調研修
- 1/20 辻井商会様現調研修
- 1/28 日建学院介護士研修

【今後の予定】

- 2/8 キッチン施工研修⇒4/22へ延期
- 2/22 便器WL設置研修⇒4/19へ延期
- 3/3 エアコン施工研修
- 3/17 パッケージエアコン施工研修

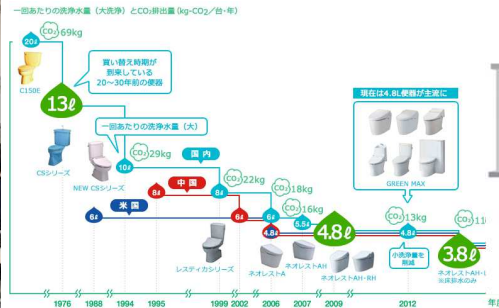
* 2022年度4月～9月研修計画をHPに
公開しました

「東雲インストール研修特集/便器ウォシュレット設置研修」

東雲研修センターでのインストール研修の中から、今月は「便器ウォシュレット設置研修」を取上げ、ご紹介いたします。講師はTOTOさんで時間は10時～15時となります。座学では、商品の特徴から開発の歴史、機能や水量の変化、配管設備との取り合いを勉強します。特にマンションと戸建住宅では商品、配管接続方法が異なります。

またこの研修の人気の秘密は、写真でもわかるように実際の機器や部材を工具を使用して組立てたうえ、水を流す試運転まで出来ることです。ここまで実際の施工に近い実習を一日で習得できる研修は他に類を見ないと思います。

1. 座学



2. 排水管墨出し、パイプのカット、排水管の取付け



3. 便器の設置、タンク内部金具セット、タンクの取付け



4. ウォシュレット取付け、試運転



新築住宅は改正省エネ基準仕様が当然の世界ですが、リフォームの世界では「断熱材が無い」ケースから「断熱材は入っているけれど」のケースが殆どと言っても過言ではないことをこのコラムで伝えてきました。今回はその中でも外壁など貫通する配管などとの関係について見てみます。

1. 内外から確認して

壁や床を貫通するのは給排水管、ガス管、エアコン関連管、電気関連、換気、その他があります。画1は床から排水管が立ち上がったイメージで構成が分かるように配管の横にもう一つの穴を開けています。床のフローリングの下に断熱材が見えます。床や外壁の断熱材等の構成は、フリーリングや内装板裏面に断熱層があります。

一般的に床下の断熱材は発泡系が使われることが多く、材質的に透湿抵抗はあると思われませんが、外壁の断熱層はグラスウールなど繊維系断熱材が使われており、内部結露は起きやすいと考えられます。そのために室温が高く湿度も高い内壁からの湿気を防ぐ意味でフィルムなどで防湿しています。



画1 床貫通管

画2 エアコンパイプ貫通

2. 既存の貫通管

建物の床や外壁などの貫通管は、給排水管やガス管、電気配線など新築時に敷設されたものが通常です。画1は床の例ですが、あらかじめ貫通管を長めに貫通させ、周囲の隙間などシーリングなど処理し防風防湿処理が行われた上で便器を設置することとなります。

問題はエアコンなど完成後に穴を開けて貫通するケースです。画2はモルタルの外壁にエアコンの冷媒管を完成後に貫通させていたケースです。

室外機とつながる2本の冷媒チューブとドレイン排水管の3本が貫通しています。通常は、専用のテープで巻かれて貫通部の隙間には専用の粘土状のシーリング材で塞がれています。しかし多くの場合シーリング材は硬化しているようです。

3. リフォーム

リフォームの調査では貫通管廻りの漏水を気にしますが、症状があれば内壁等にシミなどである程度見分けられます。しかし、貫通管廻りの内部結露は実際に開けてみなければわかりにくいものです。覗いてみると壁内の繊維系の断熱材は黒く変色しカビ臭い場合が多いのです。

さらに、壁内断熱層の冷媒管の断熱テープなど調べて改修する必要があります。冷媒管表面は結露し易いので出来れば防湿性のテープなどで断熱材と隔離することです。本来はスリーブ管をあらかじめ設置してスリーブ管と外壁で防水防湿処理をしてスリーブ管の内部の隙間をシールするのが良いのですが、既存では難しいと思います。

大切なことは配管廻りの傷みを調べて防水と防湿を加味した断熱処理することだと思えます。

市川市T様邸 築130年
奈良三郷町O様邸 築100年



岐阜市K様邸 築120年
大田区T様邸 築200年



愛西市I様邸 築90年
杉並区A様邸 築100年



*百年名家とは百年以上の歴史を持つ家屋で人々が暮らしている家のこと。そこには人々が受け継いできた物語があります。築100年の家を訪ねる旅は、全国の100年名家を巡りながら、その古き日本の文化にふれ、暮らしのヒントを探します。

東雲だより 2月号”編集後記

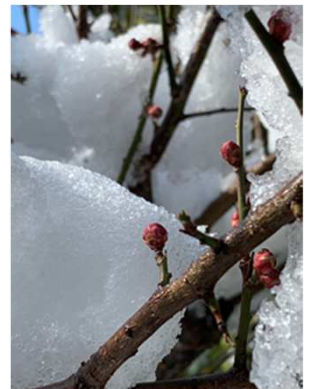
☆ドルチェ☆

— 梅の蕾 —

今月も雪が積もりました。今回は前日の夜に「これなら積もらないな。明日は仕事も普通に行かれる！」と思って疑わなかったのですが....。朝起きたら辺りが真っ白になっていました！お陰で寒さも一入。部屋の中の空気もピーンとしていました。それでも先月とは大きな違いがありました。庭に植わっている梅の木の枝が雪で白くなっていただけで、雪の中からぷっくりと膨らんでいる蕾がたくさん顔を出していたんです。白い雪に浮かぶ真っ赤な蕾がととも力強く、寒いながらも春が少しずつ近付いているんだなと感慨深いものがありました。良〜く見てみると膨らんだ梅の蕾って、ポップコーンの豆が弾ける直前のパンパンになった姿に似ていませんか？？だからかな、ちょっと美味しそう☆

うちの庭には梅の木が2本植わっていて、他のどの木よりも早く花を咲かせるので、いつもこの梅の花が咲く頃は春の訪れにワクワクするし、毎年6月には結構しっかりした量の実が収穫できるので、今年は梅酒を作ろうか、初の梅干しに挑戦しようかと楽しみです。

今年も我が家の大切な梅がそろそろ春を告げてくれそうで、その日が待ち遠しいです。



梅の蕾

佐藤深雪

お問い合わせは

橋本総業

東雲研修センター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内

●お問い合わせは

TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

